CASBEE®-建築(新築)　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版　使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要

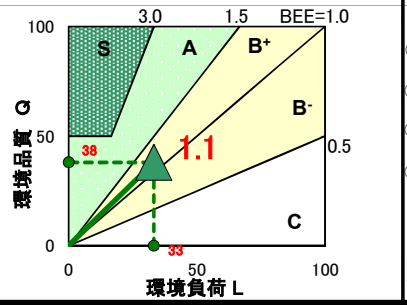
建物名称	(仮称)CAITAC SQUARE GAR	階数	地上4F
建設地	福岡市中央区警固一丁目196番1	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	－ 人
地域区分	7地域	年間使用時間	－ 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,飲食店,集会所,等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年2月　予定	評価の実施日	2018年11月22日
敷地面積	3,309 ㎡	作成者	りんかい日産建設㈱一級建築士事務
建築面積	2,402 ㎡	確認日	2018年11月22日
延床面積	7,229 ㎡	確認者	りんかい日産建設㈱一級建築士事務,,,

1-2 外観

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

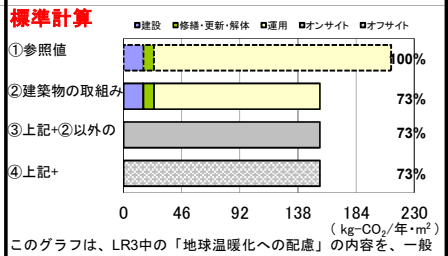
BEE =1.1

S: ★★★★★　A: ★★★★　B⁺: ★★★　B⁻: ★★　C: ★



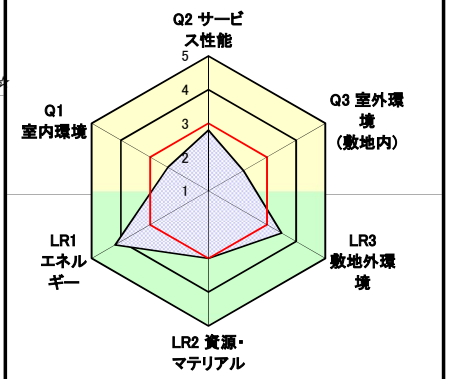
2-2 ライフサイクルCO$_2$(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆☆　60%: ☆☆☆☆　80%: ☆☆☆　100%: ☆☆　100%超: ☆



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

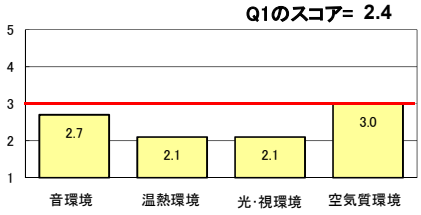
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



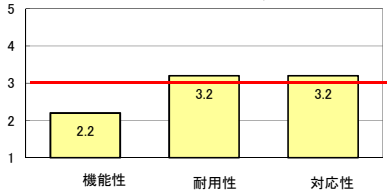
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.5

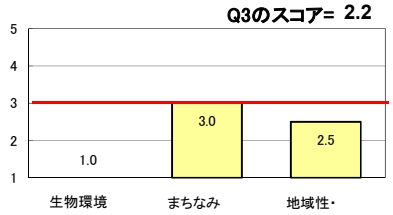
Q1 室内環境　Q1のスコア= 2.4



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 2.8

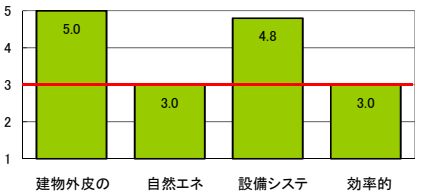


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 2.2

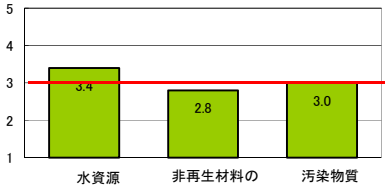


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.6

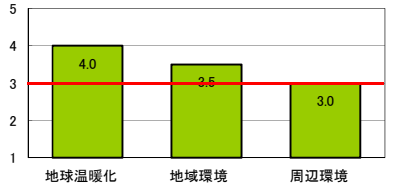
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 4.2



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.0



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=3.5



3 設計上の配慮事項

総合	その他
・高効率な設備機器の導入、節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。	-

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境（敷地内）
・断熱性能の高い躯体構成及び窓材を使用している。 ・全館禁煙を実施している。	・耐用年数の長い内装材・設備機器の採用により、建物の耐用性の向上に配慮している。 ・階高を高く確保することで、設備の更新性に配慮している。	・特に無し

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・高効率な設備機器を採用し、エネルギーの効率的利用に配慮している。	・主要水栓は節水器具とし、節水便器を使用する等水資源の保護に配慮している。 ・ＯＡフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図っている。 ・躯体と仕上材の分離が容易である。	・燃焼機器の設置をなくし、大気汚染防止に配慮している。 ・駐車場の確保や出入りのしやすい駐車場計画により、交通渋滞緩和に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO$_2$」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO$_2$排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される